

神戸大学地域連携推進本部

(事務担当) 神戸大学学術研究・社会共創推進部
社会共創課社会連携グループ

TEL 078-803-5391　FAX 078-803-5389
Email ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp
https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki

2026年11月 発行

GUIDEBOOK

神戸大学地域連携推進本部

Kobe University
Office for Promoting Regional Partnerships





地域連携推進本部長
理事・副学長
玉岡 雅之

地域連携推進本部は、地域をフィールドとして、地域課題の解決に資する教育研究と実践に取り組む教員や学生を支援し、大学の持つ「知」を地域社会に還元することを目指しています。2021年10月、地域連携機能の強化を目的に、地域連携推進室を本部へ改組しました。現在は、自治体、地域団体等との組織的な連携を進め、地域の発展に資する人材育成、地域連携教育、活動成果の発信に取り組んでいます。本学の地域連携活動に、地域の皆様、関係者の皆様から今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



神戸大学は、地域と「真摯」にむきあい、「自由」に議論し、「協働」してその発展を目指します

神戸大学地域連携体制図

学 長

本部長
（地域連携担当理事）
副本部長
運営委員会

地域連携セクション
- ●人文学研究科地域連携センター
- ●医学系研究科地域連携センター
- ●農学研究科地域連携センター
- ●海事科学研究科地域連携センター
- ●国際文化学研究科地域連携センター
- ○都市安全研究センター
- ○人間発達環境学研究科 未来共創プラットホーム
- ○経済経営研究所 地域共創研究推進センター
- ○法学研究科 パブリック・コミュニケーション・センター

協力教員
- ○人文・人間科学系教員
- ○社会科学系教員
- ○自然科学系教員
- ○生命・医学系教員
- ○V.School 等

3部門体制

組織連携推進部門
①組織的な連携推進に関する総合窓口
②自治体等との包括連携協定の推進
③神戸大学地域連携推進連絡協議会 ひょうご神戸プラットフォームの運営

地域連携教育部門
①地域創成に資する人材育成
②連携促進のための連絡・調整
③地域対象のリカレント教育

ボランティア支援部門
①ボランティア・社会貢献活動支援と窓口
②ボランティア・社会貢献活動の教育
③学生団体支援／地域や学外組織との連携
④災害ボランティア活動支援

地域連携推進本部は、大学全体として地域貢献に取り組むための窓口となり、自治体と連携、本学の人的・物的資源を活用して、個性豊かな地域社会の形成を支援するとともに地域の課題の解決を図り、地域の発展を支援する地域連携事業を推進する組織です。

基本理念

1. 神戸大学は、学術文化における地域社会の重要な担い手であることを自覚し、この分野における地域社会のリーダーとして、組織的に地域（連携）活動を進める。
2. 神戸の持つ国際的港湾都市としての文化的な位置を高め、地域から世界へ発信しうる地域連携事業を展開する。
3. 兵庫県の多様な地域社会に対応しながら、そこから地域社会の発展、活性化につながる普遍的な課題を全国に発信する。
4. 県内の自治体や地域団体との持続的な連携の継続を進め、長期的な信頼関係を深める。
5. 地域連携の成果を活かし、関係自治体等に本学の教育研究フィールドを整備する。

沿革

2003年	1月	文学部（現人文学研究科）地域連携センター設置
	6月	医学部保健学科（現医学系研究科）地域連携センター設置
		農学部（現農学研究科）地域連携センター設置
	10月	地域連携推進室設置
2005年	12月	神戸大学地域連携活動発表会開催（以降毎年開催）
2006年	11月	篠山（現丹波篠山）フィールドステーション開設
2007年	4月	地域連携事業開始（学内公募事業：教職員対象）
2008年	4月	学生地域アクションプラン開始（学内公募事業：学生対象）
2015年	9月	文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」採択
2016年	10月	神戸大学・篠山市（現丹波篠山市）農村イノベーションラボ開設
2017年	10月	地域志向科目 「ひょうご神戸学」「地域社会形成基礎論」開講
2018年	6月	東播磨フィールドステーション開設
	9月	産官学連携アイデアソン開始
2020年	3月	『地域づくりの基礎知識』シリーズ全5冊刊行
2021年	9月	食農ビジネスキャリア形成プログラム実施（文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」）
2021年	10月	地域連携推進本部設置（ボランティア支援部門の移管により3部門体制開始）
2022年	4月	海事科学研究科地域連携センター設置
		国際文化学研究科地域連携センター設置
2023年	4月	学生ボランティアサポート経費助成開始（登録ボランティア団体対象）
2023年	10月	総合教養科目「ボランティアと社会貢献活動（A）（B）」再開講

阪神・淡路大震災の被災地に位置した神戸大学では震災後、地域に生きる大学として、自治体や地域団体等と信頼関係を構築しながら復興やまちづくりに関する様々な地域連携を展開してきました。

各地域連携セクションの特色

① 地域歴史遺産の利活用等による地域文化の育成 —— 人文学研究科地域連携センター …… P.9
② 少子高齢化社会に対応した地域支援 —— 医学系研究科地域連携センター …… P.11
③ 地域社会の自然環境利用による地域の活性化 —— 農学研究科地域連携センター …… P.13
④ 地域と共に育む海洋人材と海洋文化 —— 海事科学研究科地域連携センター …… P.15
⑤ グローバルとローカルを観光と芸術でつなぐ —— 国際文化学研究科地域連携センター …… P.17
⑥ 安全・安心のまちづくり —— 都市安全研究センター …… P.19
⑦ 持続可能な社会づくりをめざすプラットフォーム —— 未来共創プラットホーム …… P.21
⑧ 地域経済の発展に向けた挑戦と連携を学術的に支える —— 地域共創研究推進センター …… P.22
⑨ 地域と大学が協働して取り組む脱炭素社会化の推進 —— パブリック・コミュニケーション・センター …… P.22

組織連携推進部門

Organizational Partnership Promotion Unit

組織連携推進部門では、地域との連携活動に関する総合窓口を担当します。
神戸大学との連携を検討されている自治体の方や、地域貢献活動の
取組への協力を希望する企業の方は、地域連携推進本部へご相談ください。

ご相談の流れ

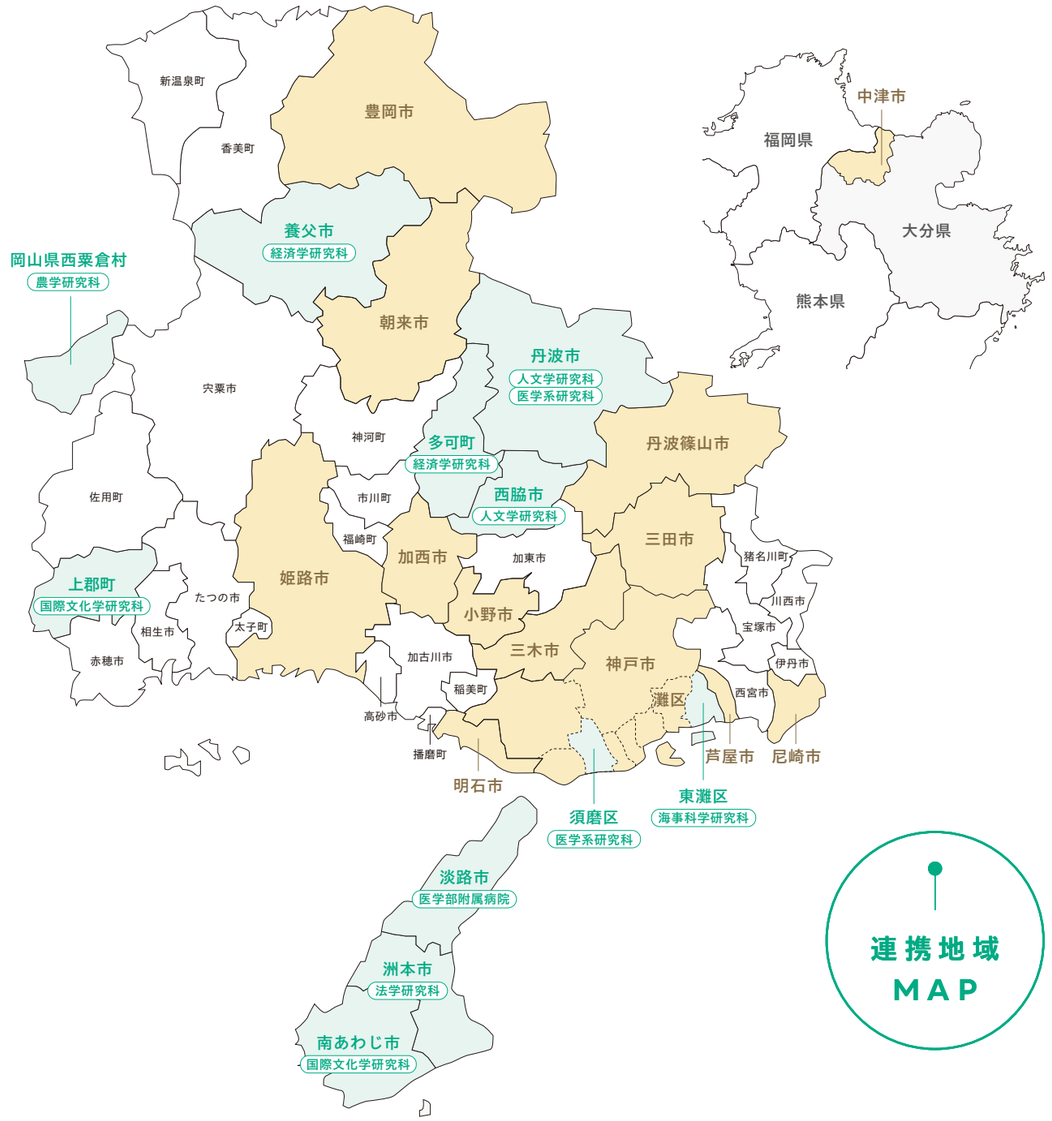
step 1 自治体・地域団体等からの連絡・相談
step 2 内容検討と適任教員の提案
step 3 実施可能性の協議/決定
step 4 テーマ、内容、期間の打合せ
step 5 参加者、学生の募集
step 6 連携事業の開始
step 7 事業成果の報告

これまでの相談実績

- 学内周知等の協力
- 企業等の地域貢献活動への協力
- 学生参加型ワークショップの企画

全学協定締結自治体・企業との連携事業

	締結日	連携事例
兵庫県	2010年8月2日	・大学コンソーシアムひょうご神戸 参画 ・兵庫県病院局と医学部附属病院の相互協力による、医学及び医療における研究、教育及び診療への参画、高度専門医の養成（医学研究科） ・「兵庫県の中小企業振興施策について」の共同研究（経済経営研究所）
神戸市	2013年5月24日	・（一社）大学都市神戸産官学プラットフォームへの参画 ・こどもの居場所づくりボランティア（医学系研究科） ・海洋人材育成（海事科学研究科） ・RCUSSオープンゼミナール（都市安全研究センター）
神戸市灘区	2004年12月2日	・学生ボランティアによる灘区内の災害復興住宅の個別訪問活動、イベント開催 ・子育てひろば「のびやかスペースあーち」の運営（人間発達環境学研究科） ・鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト（人間発達環境学研究科）
小野市	2005年1月26日	・小野市立好古館との連携事業、地域の古文書調査研修（人文学研究科）
朝来市	2005年3月23日	・生野書院の古文書整理や解読、古文書講座開催（人文学研究科） ・生野銀山を含めた生野町のPR動画シナリオを作成（国際文化学研究科）
加西市	2009年5月19日	・加西市戦争遺産資料拡充調査、加西市戦争遺跡調査（人文学研究科） ・「soraかさい」歴史ゾーンでの展示協力（人文学研究科） ・食資源教育研究センターでの「青空教室」（農業体験）の開催（農学研究科）
丹波篠山市	2010年8月30日	・連携の活動拠点　丹波篠山フィールドステーションでの活動 ・丹波篠山研究会 ・農業ボランティアサークル活動 ・丹波篠山市史編さん事業（人文学研究科） ・野生動物管理（人間発達環境学研究科）
三木市	2013年6月27日	・新三木市史編さん事業（人文学研究科）
大分県中津市	2016年4月22日	・市内高等学校出前講義 ・中津市歴史博物館協議会への委員派遣（地域連携推進本部）
三田市	2024年8月9日	・医療人材育成事業（医学系研究科） ・アプリ「さんだぜロカーボンチャレンジ」共同開発（システム情報学研究科）
姫路市	2025年3月22日	・県立はりま姫路総合医療センターでの臨床研究支援専門員養成（医学研究科） ・まちあるきフィールドスタディ（国際文化学研究科）
明石市	2025年7月28日	・公立幼稚園と相互人事交流（附属幼稚園） ・災害時における避難所としての施設利用（附属小学校） ・重度知的障がい者のための生涯学習プログラム「ボランの広場」（附属特別支援学校） ・明石市史編さん事業（人文学研究科）
芦屋市	2025年12月25日	・「コグニケア」を活用した認知症予防・健康増進の取組（医学系研究科） ・阪神・淡路大震災の経験を生かした防災・減災、ボランティア活動の推進
豊岡市	2026年2月4日	・将来の地域医療を担う医学系人材の育成（医学系研究科） ・持続可能な観光をテーマとした観光地域づくり人材の育成（国際文化学研究科）
尼崎市	2026年3月26日	・地域企業との共同研究、技術支援及び人材交流の推進
（株）神戸新聞社	2014年7月7日	・産官学連携アイデアソン、連携授業の実施（地域連携推進本部）
（株）サンテレビジョン	2021年7月2日	・阪神・淡路大震災映像　神戸大学附属図書館震災文庫デジタルアーカイブでの公開
（株）ラジオ関西	2023年3月1日	・ラジオ番組「神戸大学☆夢ラボ」による情報発信、書籍出版



連携地域MAP

全学協定

兵庫県（2010）
神戸市（2013）
神戸市灘区（2004）
小野市（2004）
朝来市（2004）
加西市（2009）
丹波篠山市（2010）
三木市（2013）
大分県中津市（2016）
三田市（2024）
姫路市（2024）
明石市（2025）
芦屋市（2025）
豊岡市（2025）
尼崎市（2025）

企業との全学連携協定

（株）神戸新聞社（2014）
（株）サンテレビジョン（2021）
（株）ラジオ関西（2023）

自治体との部局協定等

神戸市東灘区（2007）…海事科学研究科
丹波市（2007）…人文学研究科
神戸市須磨区（2007）…医学系研究科
南あわじ市（2009）…国際文化学研究科
多可町（2009）…経済学研究科
西脇市（2015）…人文学研究科
岡山県西粟倉村（2017）…農学研究科
丹波市（2020）…医学系研究科
三田市（2021）…システム情報学研究科
姫路市（2023）…国際文化学研究科
三田市（2023）…医学系研究科
神戸市経済観光局（2023）…経済学研究科
養父市（2023）…経済学研究科
北海道ニセコ町（2023）…国際文化学研究科
淡路市（2024）…医学部附属病院
神戸市健康局（2024）…医学研究科デジタルイノベーション推進センター
上郡町（2025）…国際文化学研究科
洲本市（2025）…法学研究科

※締結順　（）内の数字は締結年度
※企業との協定は本部所管分のみ

地域連携教育部門

Regional Partnership Education Unit

地域連携教育部門では、学内の地域連携セクション・自治体・地域団体などとの連携を通じた、
地域連携に関する全学共通教育や地域対象のリカレント教育により
地域創生に資する人材の育成を行っています。また、神戸大学地域連携活動発表会や、
テキスト『地域づくりの基礎知識』や地域連携ニュース「地域・だいがく連携通信」などを通じて
大学内外に本学の地域連携に関する事業や教育研究活動について発信しています。

■地域創生に資する人材育成

地域志向科目の整備と教育プログラムの開発

神戸大学では、兵庫県域を中心とした地域についての基礎的な知識の習得を目指し、
2017年より、全学共通授業科目2科目を新たに開講しました。（現在はオンデマンド）
将来の地域再生や地域づくりの担い手育成を目指しています。

ひょうご神戸学

（月曜5限・1～4年生対象・受講者数約700人）

［テーマ例］
兵庫県・神戸市の農業
兵庫県・神戸市の歴史
兵庫県の災害と戦災
地域文化からみる神戸
神戸から見えてくる新しい日本映画史

兵庫・神戸地域における経済・地理・歴史・文化・災害などの観点から、兵庫県・神戸市の現状を知り、課題を見出します。

地域社会形成基礎論

（木曜5限・1～4年生対象・受講者数約700人）

［テーマ例］
現代日本の地域課題
地域医療・福祉の課題
地域活動とキャリアデザイン
地域経済の課題と地域づくり
レジリエンスと価値

地域社会の基礎や地域が直面している課題について、経済・環境・医療・福祉・歴史・観光などの各分野からアプローチし、理解を深めます。

受講者の声
Students' Voice

- 神戸出身だが知らないことも多く、学びの多い授業だった。
- 兵庫県と地元との違いを調べることで、地元の理解についても深まった。
- 地域社会の成り立ちについて様々な学問分野から学ぶことができた。
- 県外から来た人間にとって、兵庫県や神戸を詳しく知る良い機会となった。
- あらゆる分野を網羅しており、興味深いトピックに複数触れることができた。
- 先生たちや学生たちの質問のやり取りを聞くことでより理解を深めることができた。



『地域づくりの基礎知識』シリーズ全5冊の刊行

地域課題や地域づくりについて学ぶための、初学者向けテキストである『地域づくりの基礎知識』シリーズを神戸大学出版会から出版しています。本シリーズは、神戸大学・兵庫県立大学・神戸市看護大学・園田学園大学のCOC＋事業に参加する大学が、地域住民や自治体、企業などと協力しながら展開してきた取組を集約し、これまでの地域志向型教育・研究の成果を活かしたものとなっています。現在、6冊目として「ひょうご神戸学」「地域社会形成基礎論」の授業に即したテキストを作成しています。

■「地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」事業

5領域を軸にした地域課題への対応

神戸大学を含む兵庫県内の4つの大学、自治体、経済界が「ひょうご神戸プラットフォーム連絡会」を構築。
「歴史と文化」「子育て高齢化対策」「自然と環境」「安心安全な地域社会」「イノベーション」の5領域を軸に、
産官学一体となって地域の課題解決に資する人材育成と若者の地元定着に取り組んでいます。

事業協働機関（ひょうご神戸プラットフォーム連絡会）

大　学　神戸大学・兵庫県立大学・神戸市看護大学・園田学園大学
自治体　兵庫県・神戸市
経済界　神戸商工会議所・兵庫県経営者協会・兵庫工業会・神戸新聞社

文部科学省が2015年度から実施した地方創成に関する公募事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」の採択を受け、本プラットフォームは構築されました。COC＋事業が終了した2019年度以降も、事業成果の継承とともに、事業協働機関が連携して、学生の地域理解、地元志向、地元定着率の向上を通じて地域創成につなげるよう取組を進めています。



歴史と文化領域シンポジウム

神戸大学は園田学園大学と共催で「地域歴史遺産」をキーワードとしたシンポジウムを2016年度以来、毎年開催しています。地域住民の関与によりいかに地域歴史遺産になっていくのか。また地域社会の中で地域歴史遺産をいかに活用し、次の世代にどう引き継いでいくのか。埋蔵文化財や古文書・民具、お祭りや地場野菜などを例に、日常時のまちづくりや災害時の復興におけるさまざまな保存活用のあり方について議論しています。





地域創生に応える実践力養成
ひょうご神戸プラットフォーム連絡会

（現在、神戸大学地域連携活動発表会と共催）

本学とともにCOC+事業に参画した兵庫県立大学、神戸市看護大学、園田学園大学の教職員や学生が日頃の地域連携活動を発表し、経済界・自治体・大学が一体となって活動していくための意見交換の場です。

ボランティア支援部門
Social Engagement and Volunteering Unit

ボランティア支援部門は学生・教職員のボランティアと社会貢献活動の活発化に向けて、
様々な支援を行なうとともに地域、住民、自治体等との連携に取り組んでいます。

ボランティア支援は、阪神・淡路大震災を経験した本学が、学生が地域に根ざして人と学びながら共生的人間力を身につけ、教職員、地域と共に創造的な活動に取り組むことを目的として、都市安全研究センター「ボランティア支援室」の設置(2008年)から始まりました。次にキャリアセンターへキャリア形成の支援として組織移管(2012年)後、2021年からは地域とより連携したボランティア・社会貢献活動の展開を目指し「地域連携推進本部ボランティア支援部門」として取り組んでいます。学生・教職員の取組の活発化が地域、コミュニティとの交流拡大につながり、それらを通じて大学と地域、自治体、企業との信頼関係を深めています。

ボランティア・社会貢献活動支援と窓口

- 学生、教職員のボランティア・社会貢献活動に係る支援
- ボランティア・社会貢献活動を広く社会に発信
- 兵庫県、神戸市内にとどまらず全国で活動を展開する地域への貢献
- 地域と連携した活動の展開
- 個人のボランティア・社会貢献活動スタート支援
- 学生ボランティア団体支援と登録制度
- 学内地域連携センター、地域団体やNPOとの協働事業
- ボランティア・社会貢献活動団体への助成支援



冊子『地域に出る―神戸大学ボランティアと社会貢献のススメ』の発行

- 学外の助成金獲得に向けた情報提供、申請書作成等の支援
- 学生登録ボランティア団体助成金「学生ボランティアサポート経費助成」(神戸大学基金)[2023~2025年度]
- 学生登録ボランティア団体助成金「災害ボランティア活動経費助成」(神戸大学基金)
- 学生への助成金「神戸大学生による能登半島地震 復旧・復興 災害ボランティア活動経費助成」(神戸大学基金)

ボランティア・社会貢献活動の教育

専門性と実践を備えた授業科目「ボランティアと社会貢献活動」による教育やボランティア活動支援、
団体登録制度を整備し、社会での実践に繋がるプログラムを拡充しています。

社会を知り、実践力を培うボランティアと社会貢献の授業

全学共通授業科目「ボランティアと社会貢献活動(A)(B)」(1~4年生対象)

社会で活躍する幅広い分野、多様な専門を持つ教員、企業人、医師、弁護士、NPO関係者をオムニバス形式の講師として迎え、ボランティアと社会貢献の理論と実践の現在地を学びます。


講師の話を真剣に聞く履修生

ボランティア・社会貢献活動(A)
座学
メディアと社会貢献
弁護士とプロボノ・ボランティア
医療と社会貢献
企業の社会貢献 CSR／CSV
国際協力と社会貢献・フェアトレード

想像以上にボランティアに対して興味がわきボランティアに対する視点が180度変わった。
ボランティア団体や学生団体だけでなく、様々な職種や企業、会社もボランティアや社会貢献活動に関わっていることがわかった。
Students' Voice


阪神・淡路大震災の慰霊の準備ボランティアを通じた中学生との交流(神戸市長田区・JR新長田駅前)

ボランティア・社会貢献活動(B)
座学とボランティア実習
農業ボランティアと地域
地域のにぎわい商店街・市場
ユニバーサル社会と障がい者
災害と多文化共生

ボランティアを硬いものと考えず「人とつながりを持てる機会」と捉え直すことで自主的に参加したいと考えることができる。
働きながら社会貢献できるという話が印象的。
Students' Voice

ボランティア活動に取り組む団体

兵庫県内外で農業、災害、地域福祉、国際、多世代交流、学習支援など多様な分野で活躍する20以上の団体がボランティア活動に取り組む団体として登録し、800人を超える学生が活動しています。

一言で「ボランティア」と言ってもいろんなボランティアがあります。
地域との関わりや日常では出会えない経験など、ちょっとした行動が誰かの力になります！


混声合唱団の災害支援チャリティ


地元商店街での練り歩き


地域の子供たちへの学習支援


丹波篠山市での農業ボランティア


1995年から続く灘区での「復興祭」


留学生との国際交流合宿

災害ボランティア活動支援

阪神・淡路大震災の被災地にある大学として全国からの支援を受けて復興を経た経験と感謝の気持ちを大切に、
学生、教職員のボランティア・社会貢献活動を多様な形で支援しています。

●災害ボランティア活動支援

- 全国の被災地で活動する災害ボランティア団体の活動支援
- 阪神・淡路大震災当時から続く、地域に根付いた活動の支援
- 新たな災害被災地での活動に対して助言、指導、現地の方との連携支援
- 被災地大学間、被災された方々、人と防災未来センター、NPO等関係機関との交流、支援
- 災害語り継ぎ活動、1.17慰霊のボランティア参画等支援
- 学生の災害ボランティア活動にかかる危機管理確認・指導助言、活動後のフォローアップ

●社会発信

- 活動で得た被災地支援の重要性、被災者の想いをシンポジウム、冊子、パネルなどで発信
- 阪神・淡路大震災から続く地域の方々との交流を展開し、その重要性を社会へ発信



被災された方に
話を聞いてみよう。
きっと、地域の人は
あなたを待ってる！


町内会が執り行う1.17慰霊祭でのボランティア


能登半島地震災害ボランティア



学長主催の神戸大学震災30年シンポジウム



人文学研究科
地域連携センター

地域の歴史文化を継承し、自治体や市民と連携して、
歴史文化を活かしたまちづくり支援や、
地域歴史遺産を活用できる人材の育成などに取り組んでいます。

地域歴史遺産とは？

指定・未指定を問わず、古文書・民俗行事・伝承・景観など、地域の歴史文化の理解のために必要なすべての文化財をさします。

Graduate School of Humanities











歴史文化を活かした
まちづくりの
支援と自治体史の編さん協力

地域の歴史文化に関わる調査の実施、展示会の開催、自治体史の刊行支援など

❶青野原俘虜収容所・鶉野飛行場跡等の戦争関連遺産調査（加西市）
❷地域住民と協働した古文書整理・調査の実施（朝来市等）
❸大庄屋三木家住宅文献資料調査（福崎町）
❹歴史講座「見る 知る 学ぶ 丹波の歴史」の開講（丹波市）
❺明石市立文化博物館企画展「明石藩の世界」の開催（明石市）
❻自治体史の編さん協力（明石市・三木市・丹波篠山市等）

災害時の歴史資料の救出・保全

自然災害時の資料の救出、災害に備えた歴史資料の所在確認調査、水損資料の修復ワークショップ、震災資料の保全・活用に関する研究会の開催

❶歴史資料ネットワークへの協力・支援
❷阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する研究会の開催
❸兵庫県文化遺産防災研修会の開催

地域歴史遺産を活用できる
人材の育成

将来の地域歴史文化の担い手となる、学生教育、社会人向けの講座など

❶「地域歴史遺産保全活用基礎論」「地域歴史遺産活用演習」（学内）
❷「まちづくり地域歴史遺産活用講座」「古文書初級講座」（学内外）
❸准認証アーキビスト養成プログラムへの協力
❹『地域歴史遺産と現代社会』の刊行（神戸大学出版会、2018年）

地域の歴史文化をめぐる
情報の共有や交流の促進

市民・自治体・大学の関係者による意見交換会の開催、年報の発行

❶歴史文化をめぐる地域連携協議会の開催（年1回）
❷年報『LINK【地域・大学・文化】』の刊行（年1回）

刊行書籍

神戸大学大学院
人文学研究科地域連携センター年報
LINK【地域・大学・文化】

発行　人文学研究科地域連携センター
B5版　年1回発行　2009年9月創刊





医学系研究科
地域連携センター

少子高齢化社会に対応した地域支援を行うため、
教育と研究を通して、自宅等で生活される方々の
健康や環境づくりを応援しています。

ヘルスプロモーション（健康増進）とは？

すべての人々がより健康的な生活を送ることができるように、個々人だけでなく社会全体で健康を向上させていくことです。

Graduate School of Medicine









障がいを持つ子どもたちが暮らしやすい地域づくり事業

❶就学前の発達障がい児とその家族に対する支援事業
- 発達支援教室「ぽっとらっく」（神戸市受託事業）

❷運動を通じた発達の気になる児童と家族への支援事業
- のびのび運動ひろば（こうべ市民福祉振興協会への協力）

❸ハイリスク児を持つ親への育児支援事業
- YOYO クラブへの参加（兵庫区 こべっこランド）

❹ペアレント・トレーニング事業
- 発達障害をもつ子どもの保護者へのプログラム

高齢者や障がいのある方への生活支援事業

❶医療と福祉の連携による障がい者への生活支援事業
- 福祉施設スタッフ支援のための学習会開催
- 学生ボランティアグループによる地域交流イベントへの参加

❷地域高齢者・認知症の方とそのご家族への支援事業
- 認知症予防のための講演会・検診・相談会の開催
- 地域高齢者のための運動プログラム

❸精神障がい・発達障がい者をサポートするNPO法人のサービス向上に向けた支援事業
- NPO法人の職員の専門性を高めるため研修等の支援

❹身体障がいを抱える方のアクティビティ支援事業
- NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクトへの協力

地域の子どもたちが安心できる居場所づくり事業

❶地域の子どもの居場所づくりボランティア事業
- 小学生の放課後居場所づくり事業での学習支援（須磨区）

❷地域の小学校における保健室ボランティア事業
- 保健室を訪れる児童の学習支援や個別相談

健康増進のための地域連携事業

❶自治体の保健事業支援
- 保健計画の立案や評価についての支援
- 自治体保健師人材育成支援

❷子宮頸癌啓発活動
- 子宮頸癌の定期的な検診の重要性の啓発
- 医療系学生を対象としたアンケート調査

❸家族支援相談事業
- 在宅療養に関するご家族の困りごと相談、慢性疾患をもつ家族員がいるご家族の療養相談「家族お悩み相談室」





農学研究科
地域連携センター

食、農業、農村、環境に関する課題解決や価値創造の活動を進め、
持続可能な社会の発展へ寄与します。
地域資源を管理・活用できる人材の育成に取り組んでいます。

地域資源とは？

地域特有の農産物・食文化、
農地・水、人材、技術・知識
などを指します。

Graduate School of
Agricultural Science









地域共同研究

地域の課題解決やビジョン提言に繋げる調査研究

❶自主共同研究（センタースタッフによる活動）の推進
- 実績テーマ：獣害対策、地域運営組織、ため池・水資源管理など

❷地域共同研究（農学研究科研究者による活動）の推進
- 実績テーマ：地域人材育成、食品の機能性評価、バイオマスエネルギー、森林保全など（連携先：兵庫県、神戸市、丹波篠山市、丹波市、姫路市、岡山県西粟倉村、JA全農兵庫、JA兵庫六甲など）

地域交流活動

交流を通じた知識の共有・創造

❶フォーラム・研究会・セミナーの開催
- 地域連携研究会
- バイオエコノミー研究会
- 農の学び場“Rural Learning Network”

❷学生地域活動サポート
- 学生団体：にしき恋、AGLOC、Luonto、丹波篠山学生活動団体連絡協議会（ささ連）

❸農村ボランティアバンクKOBE「ノラバ」事務局支援
❹一般社団法人神戸大学フードコミュニティの活動支援
- 神戸大学マルシェの開設

東播磨フィールドステーション
（加古川市神野町690）

神戸大学農学研究科、兵庫県立大学社会価値創造機構、京都大学農学研究科と兵庫県東播磨県民局の４者による連携協定（2018）のもと、活動拠点として設立しました。市民主体の中核機関として、（一社）ため池みらい研究所を共同で設立し（2021）、ため池・地域のレジリエンスを高める活動を進めています。



相談・情報発信

地域からの相談対応および活動情報の発信

❶ホームページやSNS等による情報発信
❷オフィスアワーの実施

教育

大学生・市民向け教育プログラムの運営・企画

❶兵庫県農林水産部との連携科目の実施
- 食農コーププログラム（兵庫県農業環境論など）

❷神戸市や丹波篠山市との起業・移住促進プログラムの企画・運営
- 神戸農村スタートアッププログラム（神戸市）
- 篠山イノベーターズスクール（丹波篠山市）



海事科学研究科
地域連携センター

地域と海をつなぐ未来を創造し、
学びと体験を共有する活動を推進しています。
練習船海神丸や各種施設を活用した地域イベントを通して、
次世代育成や防災意識向上に貢献し、
地域社会と連携して魅力ある海洋文化を発信しています。

花毛布とは？

日本の旅客船のおもてなし。海事博物館での夏休みワークショップでは、そこから着想を得たタオルアニマルづくりを行っています。

Graduate School of Maritime Sciences



練習船白鵬の乗船体験



練習船海神丸の乗船体験



タオルアニマルづくり



極低温技術や水素エネルギー研究施設の見学

子どもたちの学びを海とつなぐ

夏休みを利用して小・中学生に海の魅力や防災の重要性を伝える体験型スクールを開催

❶練習船海神丸、実習船白鵬の乗船体験
❷消防艇の見学と放水体験
❸海事博物館での学び

船の「おもてなし文化」を学ぶ夏休みワークショップを開催

❶花毛布「大輪」「日の出」の折り方体験
❷タオルアニマル「ペンギン」「スワンハート」の制作
❸豪華旅客船の客室おもてなし文化の歴史を学ぶ

未来を見据えた海洋人材育成

高校生を対象に水素エネルギーや海洋産業の最前線に触れる体験型イベントを開催

❶洋上風力発電ワークショップ
❷保冷容器の製作ワークショップ
❸極低温技術や水素エネルギー研究施設の見学
❹総合水槽など大学施設の見学
❺社会課題解決に向けたディスカッション

地域社会との交流

深江キャンパスや海事教育の歴史を知ってもらう講演会を開催

❶深江キャンパスの沿革と歴史を紹介
❷実習船の役割や航海士の仕事を解説
❸参加者との質疑応答で地域交流を促進





附属練習船「海神丸」

海神丸は、神戸大学海事科学研究科が運用する最先端の多機能練習船です。海技士の育成に加え、海洋観測や資源探査などの研究活動にも活用され、学内外の研究者や団体が利用できる体制が整っています。高度な船橋システムや通信設備を備え、最新技術を取り入れた実習が可能です。また、環境配慮型の推進システムや災害支援機能を有し、持続可能な社会への貢献も期待されています。



国際文化学研究科
地域連携センター

現代の私たちは、ヒト・モノ・文化が
容易に国境をまたいで出入りするグローバル化の時代になり、
各地域のコミュニティにこれまでなかったような
新たな課題や問題が生まれつつあります。
私たちはそれらの問題の解決に取り組んでゆきます。

フィールド・トリップとは？

大学生たちが連携している地域やエリアに足を運び、コミュニティの方々との交流を通じてキャンパス内では経験できない豊かな学びを持ち帰ります。

Graduate School of Intercultural Studies



美山かやぶきの里



姫路市との部局間協定締結



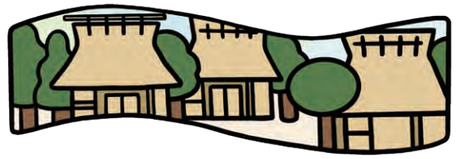
神戸映画資料館



朝来市生野町のPR動画撮影風景



観光映像ワークショップ



観光

「国連世界観光機関」が選定する「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」に認定された、京都府南丹市美山町と北海道ニセコ町の2地域と連携

❶姫路市「大学発まちづくり研究助成」事業による取組
❷「ツーリズムEXPOジャパン2023」に出展
❸「大学都市神戸産官学プラットフォーム」を活用
❹「次世代観光リーダー育成に向けたワークショップ」を開催

映像を活用した地域振興

映画学の専門教員による映像制作の監修や郷土映画史調査の実績

❶朝来市生野町のPR動画作成に協力
❷奈良県宇陀市で保存されている映画館・喜楽館（喜楽座）の調査に協力
❸神戸映画資料館と連携し「神戸発掘映画祭」を毎年10月に実施

関連資料



国際文化学研究科の研究推進センター（略称：Promis）内に「地域連携センター」を発足したのは2022年4月です。本センターが目指すのは「グローバル化が急速に進行しつつある地域社会の文化変容や摩擦を多角的に研究すること」であり、各地域の社会問題の解決に貢献することを目的として設立されました。現在はオンラインで会議や議論が容易にできるため、神戸および兵庫県の諸問題が、現代においては国境や文化圏を越えた交流のなかから生まれることが増えてきました。多様なルーツを持つ人達やグループと共生する際の課題や、コロナ後のインバウンドの再増加による過去とは異なる新しいホスピタリティの在り方は、地域のニーズと大学の専門知を融合することによって解決の糸口が見えるはずです。大学院国際文化学研究科には80名近い専門教員が在籍しています。世界中の国々の政治・社会・文化・芸術に精通した教員たちが日々蓄積してきた専門知によって、各地域においてグローバル化を発端として生まれつつある社会問題の解決に取り組もうと熱意をもって活動を進めています。最終的には神戸や兵庫の地元民にとっても住みやすく、同時に多様なバックグランドをもった世界中の人々が互いに尊重し理解しながら穏やかに暮らして行ける日常を拡大し、レジリエントな都市としての神戸や兵庫を生み出してゆくことを目指しています。



令和6年能登半島地震による液状化被害の調査（リスクアセスメント）

都市安全研究センター（RCUSS）

都市安全研究センターは、リスク・アセスメント、リスク・マネジメント、
リスク・コミュニケーションの研究部門と
協力研究部門（医学保健学、人文社会、国際・アジア、次世代減災学）
によって構成されています。
「防災」・「減災」・「復興」に立脚した、安心・安全な社会の構築を
実現するための知識、技術、方法論の研究を推進し、研究成果の
情報発信に努めて住民のリスク低減行動や防災意識向上に貢献します。

リスクとは？

望ましくない結果（影響）と
それが起こる確率（不確か
さ）の組み合わせを指します。

Research Center for Urban Safety and Security

都市安全研究センター（RCUSS）では地震メカニズム、地盤工学、災害復興計画、防災情報技術、障がい者のコミュニケーション支援、感染症、気象・気候学など、多岐にわたる研究を推進しています。2024年度にはセンター組織の改組を行い、地域社会の次世代型減災拠点として、学外の民間事業者や地方自治体などとの連携を強化し、計算科学（シミュレーション）、情報科学報技術、防災デジタルツインの技術開発と社会実装に一層力を入れています。2025年1月に阪神・淡路大震災30年を迎えましたが、震災の経験と教訓を継承しながら、学内の防災・減災・復興研究を先導すると同時に、部局横断型でつなげるハブとなることを目指しています。また、東日本大震災後に締結された東北大学と神戸大学との災害分野における連携協定を活かして、大学間の共同研究も継続していきます。



オープンゼミナールをつないできた教員たちが
広報課インタビューを受ける



伝統的建造物群保存地区で整備された防災公園と防災施設を調査する
学生たち（リスクマネジメント）



令和6年能登半島地震の木造仮設住宅を調査する学生たち
（リスクマネジメント）



阪神・淡路30年に開催した震災復興・災害科学シンポジウム

研究プロジェクト

リスク・アセスメント研究部門

❶持続可能な減災社会インフラ構築のための
　地盤安全環境評価手法の確立
❷断層における高速すべりと低速すべりに関する研究

リスク・マネジメント研究部門

❶構造物基礎の耐震性能設計法に関する研究
❷減災エリアマネジメントによる
　安全安心コミュニティ構築に関する研究

リスク・コミュニケーション研究部門

❶新型コロナウイルス感染症流行をへた医療現場における
　新しい感染症診療
❷コミュニケーション困難者の意思疎通支援に関する研究
❸Society5.0時代のセンサーとシミュレーションの融合による
　水害に対して強靭な社会の構築

情報発信

❶RCUSSオープンゼミナール（共催：神戸市消防局）
❷震災復興・災害科学シンポジウム
❸安全・安心の素コラム（協力：神戸新聞社）
❹神戸大学都市安全研究センター研究報告



RCUSSオープンゼミナール

阪神・淡路大震災の2年後から始めたRCUSSオープンゼミナールでは研究成果を伝えるだけでなく、双方向の学び合いや減災・復興に取り組む人材がつながる拠点形成に取り組んでいます。2024年度には本ゼミナールを効果的に運営するためにゼミナール参加の会員制度を導入し、各回の講演者の承諾が得られた場合には、講演の資料取得や動画視聴をできる仕組みを整えています。参加登録の方法はセンターHPをご参照ください。

人間発達環境学研究科
未来共創プラットホーム

未来共創プラットホームは、人間発達環境学研究科を足場として、地域・コミュニティ・フィールドあるいは学内外の組織と多層多元的に連携し、人間の発達や持続可能な社会づくりに関する実践的研究を行う研究プラットフォームです。以下の５つのユニットが複合連携して人・コミュニティの動態を探り、その成果を現場に還元しています。

ユニットと主な事業

ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
- ESD プラットフォーム創成事業
- 持続可能な開発・社会づくりをめざす社会教育モデルの開発／ESDスタディツアープログラム・ボランティアプログラムの開発／ESDワークキャンプ実践・ユース主体のESDプラットフォームづくりモデル開発など
- 子育て支援・障がい者の学びに関する事業
  （のびやかスペース　あーち）

サイエンスショップ
- 市民の科学と学びに関する事業
  環境調査（千種川など）、サイエンス・カフェ（兵庫県内各所や学校）

アクティブエイジング研究センター
- 高齢化を課題とする地域の住民のつながりづくりに関する事業

教育連携推進室
- 教育委員会等と連携して幼稚園・保育園教員への研修・講座の提供

心理教育相談室
- 学校・施設と連携したカウンセリング事業


ESDカフェ事業
（HCセンター）


ネットワーキング活動
（ESD実践研究集会）


健康体操
（アクティブエイジング研究センター）


多文化交流事業
（グローカルスタディツアー）


ESDワークキャンプ
（ESDプラットフォームWILL）


農村開発事業
（農村レジリエンスプロジェクト）

経済経営研究所
地域共創研究推進センター

Center for the Promotion of Regional Co-Creation Research

地方自治体、地域企業、地域金融機関、地域支援団体などと連携して、それぞれの特徴と幅広い知見を生かして地域社会の課題解決を推進していくハブ的な機能を果たしています。


2024年５月シンポジウム　パネルディスカッション



『持続可能な社会へ向けた
事業性評価の深化
－信用金庫の実践と挑戦』
家森信善 編
神戸大学出版会 2025年３月

10以上の組織と共同研究を実施していますが、その活動に対して地域連携推進本部から支援を得ています。代表的な活動は次の通りです。

❶尼崎信用金庫との「ESG要素を考慮した事業性評価の深化を通じた地域における事業者支援体制構築の推進」に関する共同研究
事業性評価にESG要素を加味することで、企業理解が深まり、企業支援の精度が高まります。そこで、尼崎信用金庫の実践を学術面から支援しています。シンポジウムを開催するとともに、シンポジウムの成果を神戸大学出版会から刊行しています。

❷兵庫県信用保証協会との「ポストコロナにおける地域の持続的成長に向けた信用保証制度の役割」に関する共同研究
地域の持続的な成長のためには、地域企業の円滑な事業承継が不可欠です。そこで、事業承継を支援する上での信用保証制度の果たす役割を研究しています。2025年に大規模アンケート調査を兵庫県内企業に対して実施しました。

法学研究科
パブリック・コミュニケーション・センター（PCC）

Public Communication Center

国際社会から地域社会までさまざまな場面で生じている、学際的対応を必要とするさまざまな課題に対し、大学からの応答を行うための組織です。

「パブリック・コミュニケーション」とは、社会的・公共的な問題について、ステイクホルダーと協議しながら、広い範囲の了解を伴う解決策の実施・執行を達成しようとする取組です。PCCが、地域連携推進本部からの支援を得て取り組んでいる課題の一つとして、脱炭素化・地域課題解決に向けた地域連携というものがあります。そのために、神戸大学が法学・経済学・政治学を連携させながら実施している「エコノリーガル大学院プログラム／法経連携専門教育」とも連動しつつ、また、IGES関西研究センターのご協力も得て、関西の各地域で生じている脱炭素化に向けた動きをさらに推進させるべく、政策形成と市民参加の促進に注力しています。その一環として、2026年２月には、兵庫県洲本市などとのあいだで連携協力協定を締結し、同市における里山里海等の課題解決や資源利活用に向けた協力を開始しました。今後もさまざまな地域課題解決に積極的に取り組んでいきます。




洲本市でのフィールドワークにて：
放置竹林問題への対応と竹の有効活用方法について学生たちが検討

拠点施設

神戸大学・丹波篠山市 農村イノベーションラボ
丹波篠山フィールドステーション

丹波篠山市との地域連携協定に基づき開設された「地」と「知」の拠点です。
生きた現場での教育と農村地域の課題解決・価値創造を住民とともに進めます。







▶古文書合宿



▲野生動物管理



1 地域創造研究

地域の課題解決や新しい価値を生み出す実践的な教育・研究活動の推進

主な研究テーマと分野：市史編さんと人材育成（人文学研究科）、野生動物管理（人間発達環境学研究科）、地域食の継承（農学研究科）、地域運営組織支援、祭り囃子の継承など

大学研究者や学生へのフィールドや連携先の紹介、活動スペースの提供

神戸大学全学および近畿圏を中心とする他大学の研究者・学生のネットワーキング・マッチング・活動支援

神戸大学留学生（学務部国際交流課「日本文化見学旅行」など）の実習・視察支援

KOBE UNIVERSITY
TAMBASASAYAMA

TAMBASASAYAMA × KOBE UNIVERSITY

2 相談・情報支援

❶市民向けセミナー・フォーラム開催
❷丹波篠山研究学会事務局および研究大会開催
❸教員・コーディネーターによる活動アドバイス
❹シェアオフィス利用



▶「実践農学」



▶篠山イノベーターズスクール



3 地域人材育成



▲「実践農学入門」



❶食と農に関わる実践型人材育成
- 農家に師事する授業科目「実践農学入門」（全学対象）
- 現場の課題解決に参画する授業科目「実践農学」（全学対象）

❷歴史遺産を活用できる人材育成
- 人文学研究科「古文書合宿」の支援

❸地域の起業人材育成、地域リーダー育成
- 一般社団法人丹波篠山キャピタル（丹波篠山市と神戸大学で共同設立・運営）としての事業実施
  - 篠山イノベーターズスクール（起業・移住促進）
  - 地域おこし協力隊活動支援
  - 地域運営組織の支援コーディネーター育成

❹実践型研究者・コーディネーターの養成
- 駐在研究員（助教など）を配置

施設概要



農村イノベーションラボ
（丹波篠山市大沢165-3）

JR篠山口駅構内にある起業と人材育成のための拠点施設。神戸大学と丹波篠山市が2016年に共同開設。神戸大学関係者利用の他、空き時間はコワーキングスペースとして一般利用可（要予約）。



丹波篠山フィールドステーション
（丹波篠山市東新町4-5）

丹波篠山市役所近くにある研究・交流拠点施設。2006年に神戸大学研究者が駐在する施設として開設。神戸大学に限らず丹波篠山市をフィールドに活動する大学・大学生は登録により利用可能（要予約）。

ご利用・ご相談・お問い合わせはメールにて：a-chiiki@sasayamalab.jp

学内公募事業採択事業一覧







地域連携推進本部では、2007年度より自治体や地域団体などと連携した
地域活性化のための活動を募集し、地域連携事業として支援しています。
多様な地域連携活動の芽を育てるとともに、異分野共創型の取組を展開しています。

地域連携事業（組織型）

年　度	部　局	事業名
2025	人文学研究科地域連携センター	地域歴史遺産の保全・活用事業
	保健学研究科地域連携センター	少子高齢社会に対応した街づくり事業
	農学研究科地域連携センター	地域連携による食料・農業・農村の持続的発展支援事業
	人間発達環境学研究科 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター	持続可能な社会づくりをめざすプラットフォーム創成支援事業
	丹波篠山フィールドステーション（地域連携推進本部）	農山村創成のための拠点形成と人材育成事業
	国際文化学研究科地域連携センター	兵庫・関西を中心とする地域文化振興と社会的課題の解決
	海事科学研究科地域連携センター	海事科学研究科－東灘区、神戸市との連携事業の推進
	経済経営研究所地域共創研究推進センター	地域共創による兵庫県の中小企業支援策の推進
	法学研究科パブリック・コミュニケーション・センター	地域連携に基づく「脱炭素化・地域課題解決」に向けた複眼的教育と実践

「地域連携事業（組織型）」は、各研究科等が取り組む地域連携事業に対し、活動の経費を補助し、支援しています。
地域連携の組織的な取組を全学に広げることを目的に、2023年度より公募制を導入しました。

地域連携事業（個人型）

年　度	部　局	事業名
2025	工学研究科	西神南団地再生・活用プロジェクト
	附属学校部	重度知的障害者の生涯学習プログラム「ボランの広場」
	農学研究科	地域おこしに貢献する新規特産鶏肉の開発
	保健学研究科	地域の健康を支える人材育成によるウェルビーイング向上事業「医学部へ行こうプロジェクト」（継続事業）
	科学技術イノベーション研究科	医療過疎化に向かう地域における公立病院活性化支援と アカデミアンによる新たな地域医療支援モデルの創出
	人間発達環境学研究科	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト
	国際文化学研究科	視る・聴く・読む・語る－神戸の戦災アーカイブ・米軍資料から読み直す生活世界と パブリックヒストリー構築の試み
	経営学研究科	学生イニシアティブで推進する体験型環境教育プログラム：こども MBA（Mountain Based Activities）
	経済学研究科	地域住民と学生による加点式健診事業「よいとこ健診」の持続的実施体制の構築
	医学研究科	県内の医療機関・住民と連携した地域医療人材育成事業
	附属学校部	幼児教育の質向上に資する神戸大学附属幼稚園カリキュラム開発研究センター事業
2024	人文学研究科	多文化の背景を持つ子ども・若者の育ち・学び・未来に関する実証的研究
	国際文化学研究科	神戸の戦後生活史をめぐる映像資料を読む・見る・語る－戦災史資料の蓄積を 新たに読み直すパブリック・ヒストリーの試み
	経営学研究科	移動・人流・オープンデータに基づくグリーンイノベーションの解析およびコミュニティ実装実験
	経営学研究科	平野プロジェクト2024：ユーザー中心の課題解決によるまちづくり・商店街活性化
	経営学研究科	六甲山上の地域学校協働活動を通じた、領域横断型の環境教育プログラムの開発および実施
	保健学研究科	地域の健康を支える人材育成によるウェルビーイング向上事業
	工学研究科	鶴甲団地 再生・活用プロジェクト
	農学研究科	丹波篠山市と連携した有機丹波篠山黒枝豆の適切な販売チャネルの構築に係るプロジェクト
	農学研究科	デジタルトランスフォーメーション（DX）による天然記念物の見える化
	農学研究科	山田錦の米ぬかを用いた新規化粧品の開発（継続課題）
	科学技術イノベーション研究科	医療過疎化に向かう地域での医療資源の有効活用と住民健康管理における イノベーション創出 ～アカデミアンによる新たな地域連携活性化支援モデルの探索～
2023	国際文化学研究科	市民とともに読み解く神戸の戦後生活史－戦災をめぐる映像資料の新たな可能性を考える
	経営学研究科	異年齢・異学年組織によるイノベーション創出とその教育的効果の実証事業
	医学研究科・人間発達環境学研究科	兵庫県・神戸市における特別な支援を要する子どもへの学際的支援体制の構築
	医学部附属病院・医学研究科・ 保健学研究科	兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医学系人材育成促進事業（継続事業）
	保健学研究科	地域リハビリテーションを支える人材育成によるウェルビーイング向上事業
	工学研究科	鶴甲団地・有野台団地　再生・活用プロジェクト
	農学研究科	デジタルトランスフォーメーション（DX）による西宮市指定文化財の見える化
	農学研究科	場所を問わない水耕栽培システムによる農業実証と研究・教育利用
	農学研究科	山田錦の米ぬかを用いた新規化粧品の開発

「地域連携事業（個人型）」は、教職員が自治体や地域団体などと連携して取り組む活動の経費を補助し、支援しています。
※2022年以前の地域連携事業採択一覧は地域連携推進本部のHPをご確認ください



神戸市内児童館での環境出前授業

学生地域アクションプラン

年　度	団体名	事業名
2025	建築サークルWOODiY	プロジェクト伊加利～南あわじ伊加利地区におけるコミセン改修と町おこし～
	児童文化研究会	兵庫県北部地域の子ども達との笑顔いっぱいの交流
	神戸大学保全生態学研究会	行政と連携し天然記念物の保全と指定を目指すための調査・啓蒙活動
	神戸大学学生震災救援隊	地域の人々と学生の交流によって、災害への理解と地域の繋がりを深める事業
	神戸大アートマネジメント研究会	音楽による社会包摂事業 神戸市内の発達支援施設に通う子どもたちにおくるナツオトコンサート
	地域交流機会創出の会「なごぶい」	URグリーンヒルズ六甲における社会的交流促進活動
	神戸大学<TEAM NADA>	「灘・夢ナリエ2025」ワークショップ活動
	ぐっすり運動ラボ	小学生への睡眠と運動に関する啓発活動
	灘地域活動センター	灘駅周辺集合住宅の地域住民と学生の交流のきっかけとなる地域に根ざした お菓子作りやゲームを行うイベント
2024	K&M BERRIES	夏イチゴのマルシェ・トライアル
	神戸大学学生震災救援隊	「耐震構造の人間関係」形成に向けて学生の地域参加を進める事業
	神戸大学児童文化研究会	健やか子どもの笑顔事業　in 豊岡
	神戸大学<TEAM NADA>	「灘・夢ナリエ2024」ワークショップ活動
	神戸大学保全生態学研究会	行政と連携した天然記念物に関する調査・啓発活動
	地域交流機会創出の会「なごぶい」	URグリーンヒルズ六甲における社会的交流促進活動
2023	ESD プラットフォーム WILL （大船渡 ESD プロジェクトチーム）	被災地地域行事支援ボランティアプロジェクト
	環境サークルえこふる	「環境かるた」食品ロス ver. を用いた出前授業
	環境DNA×環境教育チーム	地域の生物多様性を学ぼう！環境DNA分析体験とワークショップ活動
	神戸大学学生震災救援隊	阪神・淡路大震災29周年記念講演会 次世代へのメッセージ
	神戸大学＜TEAM NADA＞	「灘・夢ナリエ」ワークショップ活動
	神戸大学保全生態学研究会	西宮市産業文化局と連携した文化財保護に関する調査・啓発活動
	地域交流機会創出の会「なごぶい」	URグリーンヒルズ六甲における社会的交流促進活動
	プロジェクト福良	プロジェクト福良～南あわじ市福良地区における古民家改修と町おこし～

地域社会と連携した学生による活動を「学生地域アクションプラン」として経費を補助し、活動を支援しています。

学生ボランティアサポート経費助成

年　度	団体名	事業名
2025	灘チャレンジ実行委員会	灘チャレンジ2025
	環境サークルえこふる	「環境かるた」食品ロス ver. を用いた食品ロスに関する小学生への出前授業第三弾
	神戸大学地域密着型サークルにしき恋	農業ボランティア及び黒枝豆生産
	CNF小児糖尿病サマーキャンプ ボランティア	小児糖尿病サマーキャンプ2025
	神戸大学ボランティアバスプロジェクト	神戸、東北での語り継ぎおよび能登半島地震復興支援ボランティア事業
	神戸大学手話サークルぺんぺん草	学生による手話に関する情報発信・手話通訳ボランティア
	神戸大学混声合唱団アポロン	合唱文化の普及および演奏を通じた神戸の地域交流支援活動
	神戸大学児童文化研究会	灘区と東灘区を中心とした神戸市内の地域において、未就園児から小学生を対象に 現地学習やイベントを実施し、社会的・文化的経験の場を提供する活動
	Kobe Med Connect	みんなのまち健幸プロジェクト～外国人住民に向けた防災・生活相談の傾聴活動 in 長田
2024	環境サークルえこふる	「環境かるた」食品ロス ver. を用いた食品ロスに関する小学生への出前授業第二弾
	神戸大学混声合唱団アポロン	合唱文化の普及および演奏を通じた神戸の地域交流支援活動
	神戸大学手話サークルぺんぺん草	学生による手話に関する情報発信・手話通訳ボランティア活動
	神戸大学児童文化研究会	地域と連携して子どもに豊かな経験を提供する取り組み
	神戸大学地域密着型サークルにしき恋	農業ボランティア及び黒枝豆生産
	神戸大学ボランティアバスプロジェクト	神戸・東北での語り部および震災ボランティア活動
	CNF小児糖尿病サマーキャンプ ボランティア	小児糖尿病サマーキャンプ2024
	灘チャレンジ実行委員会	灘チャレンジ2024

阪神・淡路大震災被災地に所在する大学として、被災当時、全国からの支援を受けて復興を経た経験と感謝の気持ちを活かして、地域で自主的にボランティア・社会貢献活動に取り組んでいる学生登録ボランティア団体に対し活動経費助成を実施しています。（神戸大学基金）

災害ボランティア活動経費助成

年　度	団体名	事業名
2025	神戸大学ボランティアバスプロジェクト	能登半島地震：七尾市における復興支援ボランティア



東日本大震災から続く災害ボランティア／郷土芸能の伝承支援（岩手県大槌町）

ご相談・お問い合わせ先一覧

六甲台地区

地域連携推進本部
(事務担当) 神戸大学学術研究・社会共創推進部
社会共創課社会連携グループ
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL 078-803-5391 FAX 078-803-5389
Email ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp
HP https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki

❶ 人文学研究科 地域連携センター
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL&FAX 078-803-5566
Email area-c@lit.kobe-u.ac.jp
HP http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/

❷ 農学研究科 地域連携センター
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL&FAX 078-803-5939
Email a-chiiki@edu.kobe-u.ac.jp
HP https://www.edu.kobe-u.ac.jp/ans-chiiki

❸ 都市安全研究センター
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL 078-803-6437 FAX 078-803-6394
Email rcuss-amc@research.kobe-u.ac.jp
HP http://www.rcuss.kobe-u.ac.jp

❹ 経済経営研究所 (地域共創研究推進センター)
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
TEL 078-803-7270 FAX 078-803-7059
Email office@rieb.kobe-u.ac.jp
HP https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/CRCC

❺ 法学研究科 (パブリック・コミュニケーション・センター)
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
TEL 078-803-7232
Email law-soumu@office.kobe-u.ac.jp
HP https://www.law.kobe-u.ac.jp/project.html

❻ 国際文化学研究科 地域連携センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1 鶴甲第1キャンパス
TEL 078-803-7494
Email gicls-promis@research.kobe-u.ac.jp
HP http://promis.cla.kobe-u.ac.jp/

❼ 人間発達環境学研究科未来共創プラットホーム
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター(HCセンター)
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11 鶴甲第2キャンパス
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971
Email hc@ml.h.kobe-u.ac.jp
HP https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/hc-center

名谷地区

❽ 医学系研究科 地域連携センター
〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2
TEL&FAX 078-796-4523
Email ghs-renkei4523@edu.kobe-u.ac.jp
HP https://www.edu.kobe-u.ac.jp/fhs-renkei

深江地区

❾ 海事科学研究科 地域連携センター
〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5丁目1-1
TEL 078-431-6200 (大代表) FAX 078-431-6355
HP https://www.maritime.kobe-u.ac.jp

六甲台地区へのアクセス

●神戸市バス (阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から)

六甲台第1キャンパス
36系統 鶴甲団地行き、鶴甲2丁目止まり行き乗車→「神大正門前」下車
六甲台第2キャンパス
36系統 鶴甲団地行き、鶴甲2丁目止まり行き乗車→「神大文理農学部前」下車、「神大本部工学部前」下車
鶴甲第1キャンパス
16系統、106系統六甲ケーブル下行き乗車→「神大国際文化学研究科前」下車
鶴甲第2キャンパス
36系統 鶴甲団地行き、鶴甲2丁目止まり行き乗車→「神大人間発達環境学研究科前」下車

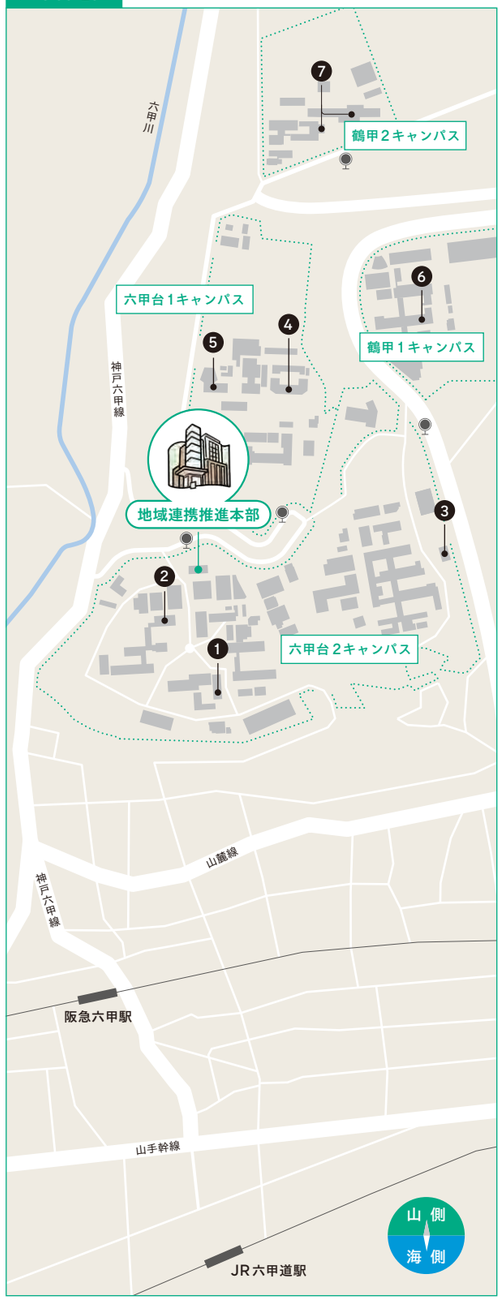
●徒歩：阪急「六甲」駅から約15～25分

下記QRコードから神戸大学への
詳しい徒歩ルートを
確認することができます。

てくてくMAP 歩いて行く、神戸大学

ACCESS MAP

六甲台地区



バス停

名谷地区



●徒歩：神戸市営地下鉄「名谷」駅から約15分
●神戸市バス（神戸市営地下鉄「名谷」駅から）：78系統「南落合方面行き」乗車→「友が丘中学校前」下車→キャンパスまで徒歩約4分

深江地区



●徒歩：阪神「深江」駅から約10分／JR「甲南山手」駅から約20分